

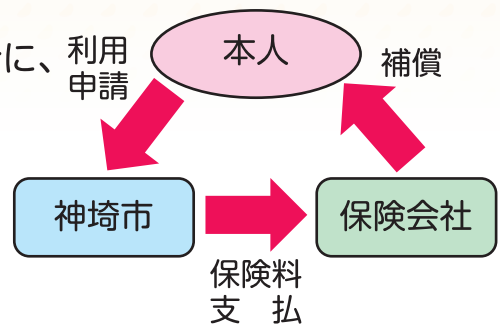
安心安全の備えとして 「個人賠償保険事業」を始めます

●神崎市認知症高齢者等個人賠償保険事業とは

認知症の状態にある人が、日常生活で起こした事故において、法律上の損害賠償責任が発生した場合に、神崎市が加入する保険から1事故につき最大3億円まで補填します。(示談サービス付き)

保険料は**神崎市が全額負担**します。

※個人負担はありません



●補償の対象となる場合

例えば、次のようなときに補償の対象となる可能性があります。

- ▷ 日常生活で他人にケガをさせてしまった
- ▷ 他人の財物を壊してしまった
- ▷ 誤って線路に立ち入り電車を止めてしまった

※認知症の症状による過失の場合のみ対象となります。



●保険加入の対象となる人

次の (1) から (4) の条件を**すべて**満たす人が対象となります。

- (1) 神崎市内に住所があり、在宅で生活をしている人
- (2) 神崎市認知症高齢者等事前登録制度に登録されている人
- (3) 「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱa」以上※相当に該当する人
- (4) 本人及び世帯員が加入している保険に同様の補償がない人

※Ⅱa以上とは「今までできていたことに対して失敗することが多くなっている以上の状態」です。

問い合わせ先

おたっしゃ本舗 神崎北 (神崎市脊振交流センター内) ☎59-2005
おたっしゃ本舗 神崎 (神崎市役所高齢障がい課内) ☎37-0111
おたっしゃ本舗 神崎南 (神崎市千代田交流センター内) ☎34-6080

見守り訓練を行いました

令和2年度よりスタートした「神崎市認知症高齢者等見守り訓練」は、地域の見守り体制の強化や、不安そうな高齢者等への声掛けや対応力の向上を目的としています。

【模擬訓練の様子】

1. 「70代女性のひとり歩き事例」



対応のポイントは

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 否定しない

2. 「80代男性のひとり歩き事例」

現職の警察官に保護時の対応を実演していただきました



先行して実施した訓練には、区長会や民生委員児童委員協議会、消防団、警察署、社会福祉協議会など各団体から代表の皆さんにご参加いただき、令和2年9月より導入した「おかえりQRシール」を活用して行いました。

●おかえりQRシールの活用イメージ



おかえりQRシールは、皆さんの手助けを必要としている人が洋服や持ち物につけていますので、見かけた時は、見守りや声掛けをお願いします。



このQRコードを読み取ると、見本のページを見ることができるニャン。



※見本のページを開くには別途通信料がかかります。

参加された皆さんの声

※参加者アンケートより抜粋

●声掛けをしてどう感じましたか？

- ・知らない人に声を掛けるのはちょっと勇気がいるなと感じました。
- ・足を止めてもらったり、安心感を抱かせる点が難しいと感じました。

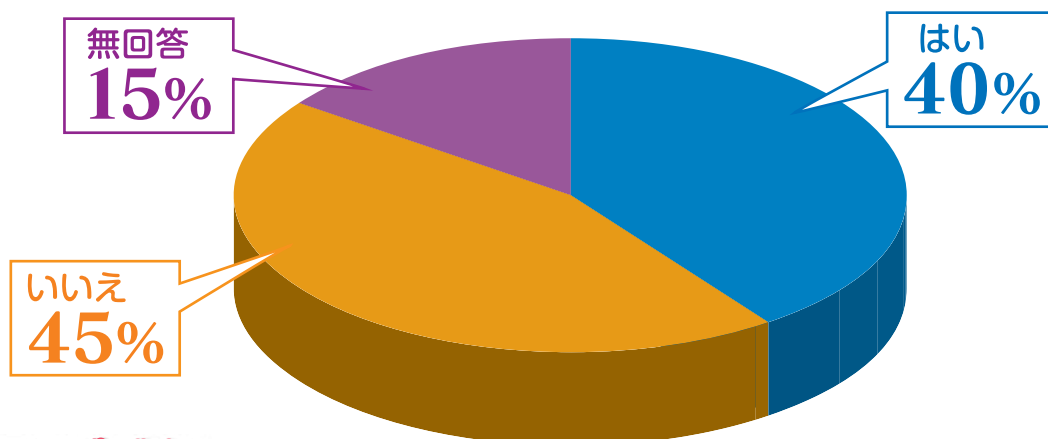


●訓練の内容や時間はどうでしたか？

- ・おかえりQRシールの前に、声掛けの仕方をもう少し訓練したほうがいいのではと思いました。
- ・時間としては少し足りないと感じました。

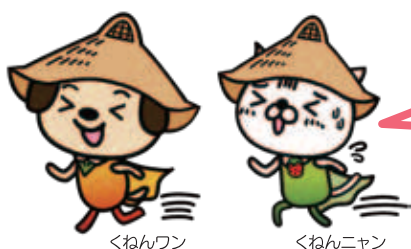


●地区で見守りや声掛けが必要な人はいますか？



●ご意見・ご感想

- ・住民同士の挨拶や声掛け運動の推進が大切だと思いました。
- ・体験できてよかったです。これからいろいろな所（地区ごと）でできたらいいなと思います。
- ・超高齢社会が進んでいる時代（社会）で、みんなが声掛けの知識を学んで行くことが必要だと思います。
- ・映像での教材等も欲しいです。（わかりやすいかなと思う）
- ・声掛けの流れが分かったので、訓練は絶対必要だと思います。



暮らしている皆さんに気を配り、そして心を配りながら、お互いに見守り合えるかざきを目指しましょう！

あたたかい見守りがはじまっています

★事例紹介★

Aさんご夫婦は、神埼町で暮らされています。今から10年前に、“おとうさん”は認知症の診断を受けられました。“おかあさん”は以前、認知症の人の介護をしていたこともあり「1人で見守り続けることは難しいし、近所の人に隠してはいけない」と思い、地区の皆さんに“おとうさん”のことを伝えました。



《“おかあさん”に聴きました》

Q “おとうさん”はどんな人？

A 元々は物静かな人だったんだけど、認知症の状態になってからは「ボク麻雀できるよ」って教えてくれたり、おどろかそうとしたり、とっても「おちゃめ」になったのよ。診断から10年経っているけれど、ご飯はよく食べてくれるし、ゴミ出しをしてくれたり、新聞を取ってきてくれたり、このまま二人で仲良く暮らし続けられればいいなと思っているの。“おとうさん”は、健康のために歩いているから、ひとり歩きをやめてもらうことは考えてないの。

Q 地区の皆さんに打ち明けてよかったことは何ですか？

A 会うと挨拶してくれたり、迷惑かけても「よかよか」って言ってくれたり「今日は〇〇に行きよんしゃったよ」って教えてもらえるから、とてもありがたいと思っているの。特に“おとうさん”は何も言わずにそっと家を出るから、地区で見守ってくれている人がいると思うと、とても心強いわ。

《地区の皆さんに聴きました》

Q 皆さんから見た“おとうさん”はどんな人？

A おもしろい人よ。地区のいきいき百歳体操教室にもよく来てくれています。「これから音頭」が好きなようで、かっこよく踊られていますよ。

Q この地区はどんな地区ですか？

A 雰囲気がよくて、隣近所いい人が多く、とてもあたたかい地区です。“おとうさん”が歩いていたら、皆で声を掛け合っています。



“おとうさん”を中心として、地区の皆さんがあたたかい心でさりげない見守りや声掛けを行われていました。



くねんワン



くねんニャン